

# 平成30年度事業計画

## I 基本方針

- 1 自らの厚生制度を自主的に創造する力の結集をはかってきた歴史的な経過を踏まえ、理事・監事・評議員・運営委員・所属所が一体となって、今日の時代環境にあった福利厚生を探求していきます。
- 2 生涯にわたり有意義で充実した生活を送ることができるよう、会員一人ひとりの健康の維持・増進、所属所を超えた会員間の交流を深めていきます。

## II 主要事業の方針

### 1 公益事業

府民・住民への参加を引き続き積極的に呼びかけます。

### 2 福利厚生事業

#### (1) スポーツ健康交流事業

会員の多様なニーズを踏まえ、今日の時代環境にあった福利厚生事業の改善・充実を図るとともに、新たな事業の実施に向け取り組みます。

#### (2) 自己啓発等支援事業

現行事業を継続して実施します。

#### (3) 給付事業

現行事業を継続して実施します。

### 3 退職互助事業

定年延長にかかる今後の動向を見据え、現在、60歳からの10年間となっている療養給付期間等の検討を始めます。

### 4 その他

全国市町村互助団体連絡協議会等同種互助団体との意見・情報交換を通じて、会員が求める福利厚生事業の推進に努めます。

### Ⅲ 所属所数、会員数、給料月額状況

#### 1 市町村等の所属所数

区分	平成 29 年度 (A)	平成 30 年度 (B)	(A) - (B)
市	7	7	0
町村	11	11	0
一部事務組合	18	18	0
団体	5	5	0
合計	41	41	0

#### 2 会員数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度 見込み	平成 30 年度 推計
現職会員 (対前年度増減数)	7,515 (81)	7,587 (72)	7,570 (▲17)
退職会員 (対前年度増減数)	3,421 (68)	3,482 (61)	3,493 (11)

\* 現職会員は年度の平均会員数、退職会員は年度末会員数

#### 3 平均給料月額

区分	平成 28 年度	平成 29 年度 見込み	平成 30 年度 推計
月額 (円) (対前年度増減額)	303,369 (▲1,782)	302,044 (▲1,325)	300,878 (▲1,166)
対前年度増減率 (%)	▲0.6	▲0.4	▲0.4

## IV 事業計画

### 1 公益事業

#### (1) 健康文化講演会

第一線で活躍する著名人に学ぶ講演会

#### (2) スポーツ健康交流大会

種目、企画の一部に府民も参加できるよう開催

#### (3) 丹後半島駅伝大会

「府民参加の部」と「特別参加の部（＝地元中学校）」を設け参加を呼びかけ

#### (4) 健康測定会

スポーツ健康交流大会及び丹後半島駅伝大会に併設

### 2 福利厚生事業

#### (1) スポーツ健康交流事業

##### ①第39回軟式野球大会

4日の日程にわたり大会を開催

##### ②第33回バレーボール大会

「男子の部」と「女子の部」を2日の日程で開催

##### ③第14回スポーツ健康交流大会

「スポーツ」「健康」「交流」を柱に多種目、多企画を一堂に開催

##### ④第31回丹後半島駅伝大会

経ヶ岬から間人小学校までの6区間 18.5km

##### ⑤スキー&ボード教室

冬場の健康づくり、会員相互の交流・コミュニケーション事業

##### ⑥ファミリースキー&ボード教室

家族も含めた交流・コミュニケーション事業

##### ⑦出前健康講座

「健康講座」と「健康測定」を希望した所属所に出向いて実施

##### ⑧みんなのウォーキング

会員の日常的な健康づくりを支援する事業。「チャレンジ月間」は1チーム5人で1カ月間の歩数の多さで競争、交流

⑨会員家族リフレッシュ事業

家族も含めたリフレッシュ事業として年度1回実施

⑩新規事業

(2) 自己啓発等支援事業

①ライフデザイン講座

生活設計に必要な経済を柱に学ぶ講座

②退職準備講座

年度末退職者を対象とした退職後の生活設計を考える講座

③所属所厚生事業助成

所属所が実施した厚生事業に助成

④カフェテリアプラン事業

会員自らが自主的、計画的に行った福利厚生活動に助成

⑤自主活動支援助成（クラブ・サークル活動支援助成）

会員15人以上、かつ、7所属所以上の会員で構成するクラブ・サークルが行う活動に助成

(3) 給付事業

①健康回復助成金

病気やケガをして保険診療を受けたとき、1カ月1医療機関につき1,700円を上限に助成

②人間ドック利用助成

人間ドックを利用したとき、年度1回助成

外来3,000円（節目は5,000円）、入院5,000円（節目は10,000円）

\* 節目＝45歳、50歳、55歳、60歳（年度末年齢）

③結婚祝金

会員が結婚したとき 50,000円

④子育て祝金

会員の子が小学校、中学校に入学したとき 15,000円

⑤療養見舞金

病気又は負傷のため継続して15日以上療養したとき  
15日 10,000円 以降1カ月ごとに7,000円

\* 6日以上の入院を伴う場合は10,000円を付加

⑥要介護者等支援助成金

会員・家族が病気等により看護、介護が必要となったとき

ア 看護師斡旋機関等から雇用したとき 5,000円/日(上限7日)

イ 特別養護老人ホームに短期入所したとき 1,500円/日(上限7日)

ウ 要介護3以上の者を同居により介護しているとき 10,000円/年度

⑦子育て支援金

会員・配偶者が出産したとき 30,000円

会員の子が満1,2,3歳の誕生日をむかえたとき 10,000円

⑧災害見舞金

住宅又は家財の全部焼滅失 100,000円

2分の1以上焼滅失又は床上120cm以上浸水 50,000円

3分の1以上焼滅失又は床上浸水 30,000円

⑨死亡弔慰金

会員 100,000円 配偶者 70,000円、

子 50,000 実(養)父母等 30,000円

⑩傷害見舞金

厚生会又はあらかじめ登録している団体が主催する行事中のケガが原因で通院、入院などをしたとき(民間保険に委託)

3 退職互助事業 ※任意加入

医療、健康、生きがいといった退職後の不安に備えた任意加入の事業

(1) 医療給付金事業(満60歳から満70歳まで)

①療養給付金

保険診療の自己負担分を給付

②入院見舞金

10日以上入院したとき 年度1回5,000円

③死亡弔慰金付加金

医療給付金事業の適用期間中に死亡した場合に給付

④未給付期間給付金

受給権を得ずに60歳を経過した期間がある場合に給付

⑤障害見舞金

身体等の障害により、療養給付金の給付を受けられなくなった場合に給付

⑥健康活動助成金

年度を通じ療養給付金の給付を受けなかったとき 5,000 円

⑦人間ドック等利用助成金

人間ドック等を利用したとき 年度1回費用の30% (上限15,000 円)

(2) 給付事業

①長寿祝金

古希・喜寿 5,000 円、米寿 10,000 円

②死亡弔慰金

10,000 円

(3) 厚生事業

①「退職会員のつどい」「グラウンドゴルフ大会」を開催

②「支部交付金」で府内8支部の支部活動を支援

③「退職会員版れんぼう」を発行 (年2回)

4 趣旨普及事業

機関紙「れんぼう (年9回発行)」及びホームページで厚生会事業等を趣旨普及

5 その他

(1) 相互扶助支援積立金

給料月額額の1000分の6に相当する額を毎月積み立て、積立期間中の運用益を付利して退会時に給付

(2) 療養経費積立金 ※任意加入

退職後の生活設計等に役立てることを目的とした任意加入の積立制度